

Miyaco

DPFの詰り解消

インジケータランプが点灯したら…



DPFデクロッガー (1000ml)
NS-1000

エンジンチェックランプが点灯!?



インジケータランプが点灯!?



でも大丈夫!
燃料タンクに入れるだけ!
もっとも安いコストで
詰まりを解消!

目詰まり解消

チェックランプ点灯後でも使用可能

強制再生にも効果発揮

EGRにも効果発揮

デクロッガー使用後のメンテナンスに。



DPFクリーナー (500ml)
NS-500

インジケータがレベル7程度(図1参照)、もしくは
DPFランプが点滅~点灯になった時にクリーナーを
添加ください。年数回程度の継続使用が効果的です。

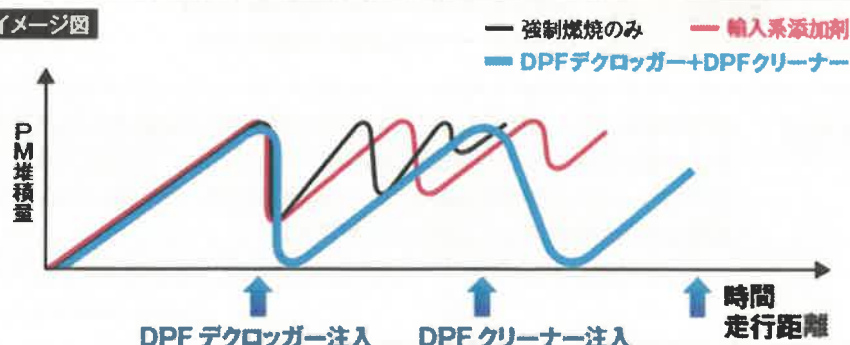


(図1)

燃料ラインの洗浄と潤滑

目詰まりの解消

イメージ図



ミヤコ自動車工業株式会社

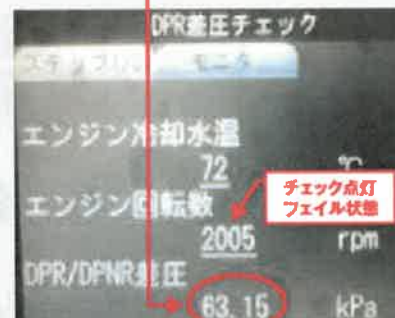
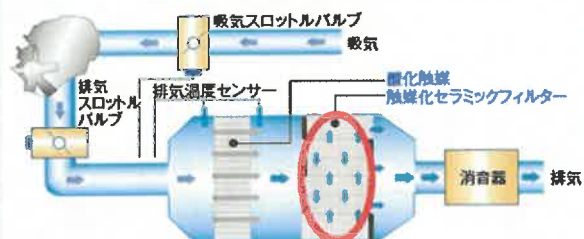
DPFデクロッガーの特徴

DPF・DPR・DPDは詰まるものです

ディーゼルエンジンでは、燃焼時にNOx(窒素酸化物)を生成します。NOx抑制させると、PM(粒子状物質)が多く生成されます。

DPFの役割は、排気ガス中のPMを捕捉することです。DPFが捕捉できるPMの量は限界があり、いつかは目詰まりを起こします。

目詰まりを起こすと、DPFに入る圧力と排出される圧力に差が出ます(差圧)。このとき、わざと燃料を濃いめに吹いてDPFに詰まったPMを高温で燃やして目詰まりを解消させます【強制燃焼】。



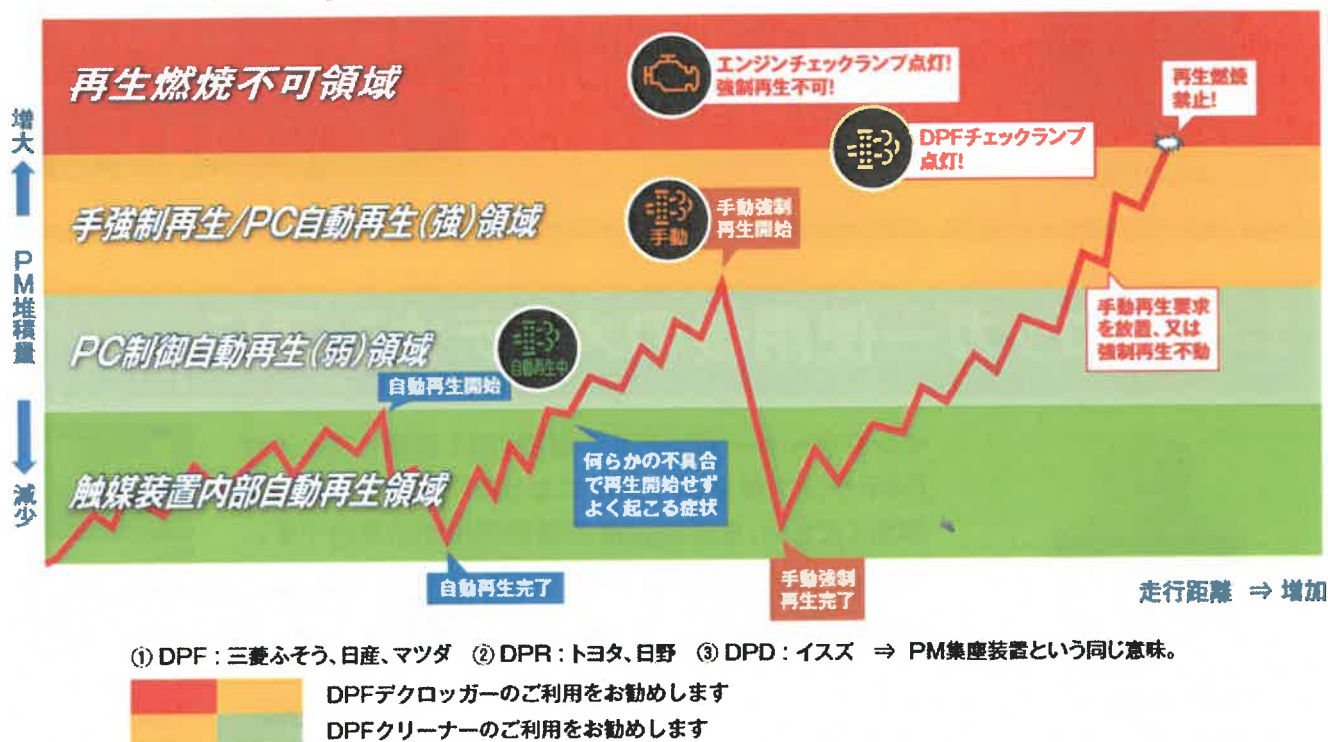
(※DPFチェックランプ点灯時差圧チェックイメージ画像)

手動再生(強制燃焼)とは?

本製品は、強制燃焼(450~500℃)より比較的低温でPMをほぐして除去します。従来のセリウム系DPF洗浄添加剤も強制燃焼と同様に高温でPMを燃焼させます。

何度も高温燃焼しているとコアが崩れやすくなり、フィルターの機能がしなくなり。さらに高温でPMが固くDPFに焼き付き、最終的には交換せざるを得ない状態になります。

[DPF(DPD/DPR)装置内部でのPM物質堆積量の推移]



使用方法

DPFデクロッガーを燃料100Lに対し1本(1L)燃料タンクに注入してください。注入後は通常走行、またはアイドリングをしてインジケータランプまたはDPFチェックランプが消えたら完了です。詰まり解消後は4ヶ月に一回程度、DPFクリーナーを燃料100Lに対し1本(500mL)ご使用してください。使用量は厳守してください。入れすぎると有害なガスが発生することがあり危険です。

ミヤコ自動車工業株式会社

東日本 : 0296-32-6222 札幌 : 011-853-5555
大阪 : 06-6452-2291 名古屋 : 052-872-1821
URL : <http://www.miyaco-brake.co.jp>